

平成29年度（第10回）「ふくおか地域づくり活動賞」受賞団体

1. 「ふくおか地域づくり活動賞」グランプリ（知事賞）1団体

団体名（所在市町村）	受賞理由
<p>到津の森公園市民ボランティア森の仲間たち （北九州市）</p>	<p>平成14年4月の「到津の森公園」開園に先立ち、平成12年から約2年間の事前教育を経て、平成14年3月に自主的な組織「到津の森公園市民ボランティア森の仲間たち」を立ち上げ、公園内の動物の世話や飼育員補助、動物ガイド、餌切り、餌野菜の育成、植栽・植物の手入れなど「到津の森公園」の維持管理を行う。このほか、ビオトープ、野草園を活用して自然を題材としたイベントによる自然教育の実施、ホームページや月1回発行している広報誌「森の便り」において情報発信をするなど「到津の森公園」の運営にかかわる幅広い活動を行っています。</p> <p>市民ボランティアが動物の餌切りを担う動物園は全国的にも珍しく、長年にわたり、市民自らの手で「到津の森公園」の運営を支える取組みを実施してきたことが評価されました。</p>

2. 「ふくおか地域づくり活動賞」準グランプリ（協議会会長賞）2団体（50音順）

団体名（所在市町村）	受賞理由
<p>弥栄神楽座 （嘉麻市）</p>	<p>平成26年に伝統神楽のないこの地域に新たな伝統神楽を作りたいと地元神職が地元住民と芸術関係者に呼びかけ設立。</p> <p>神楽に必要な舞・音・衣装・面などほとんどすべてを一から制作しています。振付は佐賀県のダンサー、曲は嘉麻市出身で北九州市在住のピアニストが制作し、神楽で使用する神具王冠の彫金は九州産業大学の学生の協力を得て作成している。また、初年度にはオランダ人アーティストも作品の制作に携わり、東京、オランダでも作品を発表しています。</p> <p>多彩な人が共同し、「唯一無二の神楽」を作るという取組みは、地域の伝統芸能・文化への意識向上にもつながる独創的な取組みであり、地域の活性化に貢献している点が評価されました。</p>
<p>特定非営利活動法人 直方川づくりの会 （直方市）</p>	<p>平成15年に環境の保全に寄与することを目的に設立し、遠賀川水辺館を拠点に環境保全に関する各種情報の収集及び提供、川の環境保全のための環境教室などを実施しています。</p> <p>遠賀川水辺館ではビオトープを活用した水生生物調査や遠賀川でのカヌー体験、釣り体験など多くの体験学習を実施しており、これらの活動を通じて幼児から大学生まで幅広く河川環境教育を行っています。また、遠賀川水辺館が遠賀川地域防災施設であることから防災教育にも力を注ぎ、川の安全利用に関する意識向上に寄与しています。</p> <p>現在では、これらの活動に参加した者が河川の研究や河川行政に携わるなど地域人材の育成につながる取組みを進めてきた点で評価されました。</p>

3. 「ふくおか地域づくり活動賞」10団体（50音順）

団体名（所在市町村）
一般社団法人 住マイむなかた（宗像市）
北九州市立大学地域共生教育センター平和の駅運動プロジェクト（北九州市）
北野町生ごみリサイクル会（久留米市）
古賀すたいる（古賀市）
小水城の会（大野城市）

特定非営利活動法人 汽車倶楽部 (直方市)
認知症サポーターを広める会 (直方市)
福岡県立大学と共に歩む会 (田川市)
ラブリバー撥川ネットワーク (北九州市)
和白干潟を守る会 (福岡市)